

## 研究会・シンポジウム報告

2024年6月7日（金） 定例研究会報告

テーマ： 歴史災害と教訓・教育

報告者： 木村玲欧（兵庫県立大学）

時間： 15時—17時半

場所： 神田キャンパス7号館764室

参加者数： 8人

内容概略：災害時の人間心理・行動、復旧・復興過程、歴史災害教訓、防災教育など災害研究を展開している木村教授に、『戦争に隠された「震度7」—1994 東南海地震・1945 三河地震』（吉川弘文館）、『日本歴史災害事典』（吉川弘文館）について解説いただいた。第2次世界大戦末期の報道管制下において、具体的な被害報道が制限され、写真も少ない1944年東南海地震や1945年三河地震を対象に、当時の震災を経験した住民へのインタビュー結果を画家の協力を得て制作した絵を用いた防災教育に関する一連の研究をご紹介いただいた。日本歴史災害事典については、編纂に至った経緯や、編者の想い、今後の課題などをご紹介いただいた。発表後、活発な質疑応答がなされた。

記：専修大学ネットワーク情報学部・佐藤慶一